



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2020.5.25

授業の条件付き再開について

夏の全国高等学校野球選手権大会が中止というニュースが流れました。3年間、いやそれ以上の年月をかけて甲子園を目指して頑張ってきたにもかかわらず、その挑戦権すら与えられない状態となってしまった高校球児の想いを想像するとき、かける言葉がありません。球児がインタビューで必死に前を向こうとして言葉を振り絞っている姿を見ると胸が締め付けられる思いでした。アマチュアスポーツイベントとしては、注目度が高い大会であることから大きく取り上げられていましたが、全国中学総体、インターハイ、全国高校文化祭、NHK 音楽コンクール等、この夏を中心に行われる予定であった大会が次々と中止になっています。それぞれの大会を目標に頑張ってきた一人一人の思いは、高校球児に勝るとも劣るものではないと思います。大会関係者も苦渋の決断だったことと思います。県総合体育大会も中止になり、市の中学校総体も、予定していた6月上旬の開催は不可能な状況の中、なんとか中学3年生に最後の舞台を準備してあげたいと関係者が知恵を絞っているところです。コロナ禍の見通しも、まだ不透明であり、生徒の健康・命を考える中で関係者は苦悩しているところがあります。

残念なニュースがある一方、今日から条件付きではありますが、授業が全員登校により再開されることになりました。分散登校では、先生も子どもたちもやはり寂しさが付きまわっていました。Aグループ、Bグループでお互いにメッセージを残して一体感を持とうと工夫している学年もありました。クラス全員で活動できることを、子どもも先生もみんな心待ちにしておりましたので、今日のこの日を大変喜んでいると思います。条件付きの再開ということで、学校では市教育委員会指導のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら学習活動を進めていきたいと考えています。これまで取り組んできたことを継続しながら、次のことにも取り組みます。

- ・ 授業中も、教室は常に2か所以上、できればすべての戸・窓を開けて換気を行う。
- ・ プリント類は、教員が手洗いや手指消毒を行ってから一人一人に配る。
- ・ トイレは教員が掃除・消毒を行う。児童生徒は行わない。
- ・ 給食は、市教育委員会作成の「感染症予防対策に基づく給食指導ガイドライン」に沿って行う。
- ・ 給食前に一人一人の机と配膳代を毎回消毒する。間隔をあけて並んで、自分が食べるものは、自分でお盆にとって自席に座る。
- ・ 理科は、実験を多数伴う化学分野を地学分野など他の分野と交換して後回しにするなど、年間計画を見直す。家庭科の調理実習は当面実施しないなど、教育内容を確認して、リスクの高くなる学習活動は年間計画を入れ替えるなどして対応する。
- ・ 学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察等から、児童・生徒の状況を把握して対応する。必要に応じて、スクールカウンセラーの長野先生にも協力を得る。
- ・ 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけるよう指導する。

まだしばらくは、不便な生活が続くことになっていきますが、よろしく願いいたします。